

7 みんなが主役のまちづくり

須坂に住むみんながどこよりもいちばん須坂が好きで、
住みよいまちを後の世代につなぎます。

市民のみなさんや企業、各種団体が担う「民」の役割の部分と、
お互いが補完しあう「公(おおやけ)」の役割の部分、
行政をはじめ官公庁が担う「官」の役割の部分
一人ひとりができることから担い、みんなのまちをみんなで作ります。

1

幸せな社会は
人権尊重と
共同参画から

一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権を守り差別のない社会、男性も女性もいきいき活動できる男女共同参画社会を実現するために、市民のみなさん・企業・行政が力を合わせ、社会づくりを推進します。

施策
38

人権が尊重される社会の実現

人権同和政策課・人権同和教育課

理想とするのは……

市民のみなさんが、人権課題の把握から施策の立案・実施・評価に関わり、「お互いを思いやり、尊重する社会の実現」をめざし、地域に存在する矛盾や人権侵害が解消され、地域社会全体の人権意識が高いまち。

施策の指標

めざすのは?



人権が侵害されたと
思ったことがある人の割合を減少



—数値の測り方—

市民総合意識調査 個別設問

現状値
(21年度)
10.2%



目標値
(27年度)
5%

現状・課題

各種学習会や啓発のための事業を実施していますが、第四次須坂市総合計画・後期基本計画において設定した「目ざそう値」の目標「本人または家族が人権を侵害されたと感じたことがある人の割合」は、11.2%から10.2%に減少したものの目標の0%には及ばず、あらためて人権を尊重することの難しさが示されています。

解決に向けて継続的に事業を実施していく必要があります。

市民のみなさんからの意見

「人権学習の参加者が少ない」

「人権同和問題学習会が義務的(形式的)になりがち。もっと内容の充実を図るべき!」



取組んでいきます!

人権同和教育の推進

- ・学校や社会・家庭などにおける人権同和教育を推進します。
- ・市民のみなさんを対象とした人権同和問題に関する講座(学習会)を開催します。
- ・人権同和問題に関する、学習活動の支援や推進体制の整備をすすめます。

人権同和問題解決に対する支援

- ・人権同和問題解決に向けて活動している、各種市民団体などに対する活動を支援・育成します。

市民意識の把握

- ・意識調査を定期的に実施して課題を把握し、今後の施策に反映させます。

啓発活動

- ・市民のみなさんの手による「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」「人権を考える市民のつどい」などの、人権啓発イベントの実施を支援します。
- ・広報などによる啓発・情報提供を実施します。

相談・支援体制の推進

- ・人権交流センターを総合窓口に、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題について、解決に向けた相談・支援体制を充実します。



めざしていきます!

啓発活動のイベントなどの参加者満足度

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
参加者アンケート	93%	95%

各種相談活動の実施

実施件数	200回	250回
------	------	------

施策
39

男女共同参画社会の実現

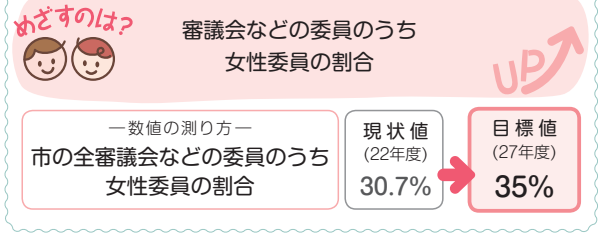
男女共同参画課

理想とするのは……

市民のみなさんが主体となって、身近な話題をテーマにした男女共同参画の学習がおこなわれ、意識を高め合えるまち。

家庭や地域・学校・職場などあらゆる分野で人権が尊重され、個性と能力を発揮し、責任もともに担うまち。

施策の指標



現状・課題

須坂市ではこれまで、男女共同参画地域学習会で、家庭や地域での慣習やしきたりをテーマに、男女共同参画意識を高めるよう取り組んできました。また、事業所を対象とした研修会では、仕事と生活の調和をテーマに、共同参画の研修会などを実施してきました。

しかし、市民総合意識調査では、男女共同参画社会実現への満足度は男女で大きな差があります。このことは、まだ、あらゆる分野で性別役割分担意識があることを表しています。

若い世代の参加を増やし、意識を高めるためには、学習会への参加方法をわかりやすくPRするとともに、参加しやすい体制を整備し、市民のみなさん・事業所・行政が力を合わせ、学習したことを実践していくことが必要です。

市民のみなさんからの意見

「学習会に、どんなふうに、どう参加していいかわからない……」

「30代・40代の女性が参加できるように、会議の持ち方や体制に工夫をして！」



部落差別をはじめあらゆる差別をなくす
市民大集会 井上小学実践発表

取組んでいきます！

男女共同参画推進体制の強化

- ・「須坂市女と男がともに参画する社会づくり条例」に基づき、「第三次すざか男女共同参画計画」を見直し、市民のみなさんや事業者と共に取組む体制を強化します。

男女共同参画意識の向上

- ・ワークショップを取り入れた男女共同参画地域学習会を実施します。

自分らしい生き方・働き方ができる地域づくり

- ・事業所や農林業、自営業者など、あらゆる分野で働く人が能力を発揮し、仕事と生活の調和の推進ができる体制をつくります。
- ・市民のみなさんが、自分らしい生き方や働き方に挑戦できる環境をつくります。

めざしていきます！

審議会・自治会への女性参加

内 容	現状値(22年度)	目標値(27年度)
女性委員がいない 審議会などの数	8 審議会	0
女性役員がいる自治会数	12自治会	30自治会

男女共同参画に対する意識調査

内 容	現状値(19年度)	目標値(27年度)
すざか男女共同参画計画 認知度	12.1%	20%
「男は仕事、女は家庭」の 考え方を肯定する人の割合	39.7%	28%

男女共同参画地域学習会の実施

数 値 の 測 り 方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
実施した累計自治会数	15自治会	69自治会

積極的に社会参加ができるよう講座を開催

研修会や講演会への 累計参加者数	68人	418人
---------------------	-----	------



男女共同参画フォーラム

2

行政運営から 都市経営への 移行

須坂市を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、私たちが共に須坂市の将来像を思い描き、実現していくためには、「共創による経営」が求められます。

持続的に発展するまちをめざし、一人ひとりが当事者意識を持って関わります。

施策
40

多様な活動主体の参画による 地域社会づくりの推進

市民課

理想とするのは……

ボランティア団体、NPO 団体など、地域で活動している様々な組織や個人が主体となって、子育てや福祉、生涯学習など、共通の課題を解決したり、目的の実現や相互理解を深めるため、市内外の住民との人的ネットワークが充実し、交流しているまち。

施策の指標

めざすのは？



ボランティア団体数の増加



—数値の測り方—
ボランティア登録している
団体数

現状値
(21年度)
156団体

目標値
(27年度)
180団体

現状・課題

多種多様なボランティアが活動しています。それらの活動を支援するために、社会福祉協議会や生涯学習ボランティアネットワークが主体となって、各種団体の情報交換のために講演会や研修会を開催しています。

姉妹都市の神奈川県三浦市、新潟県新発田市、国際友好都市の中国吉林省四平市とは、児童・生徒の親善交流や地域、団体の交流などを実施しています。

須坂市に外国人登録をしている方に対しても、共にまちの担い手として、日々の生活の面で、情報の提供と住民交流を深めることが求められています。

市民のみなさんからの意見

「種々のボランティア活動があり、活発におこなわれていて良いね」

「今まで区長、民生児童委員などに関わってきたけれど、このようなボランティアによる行政部門は実に広い。このような人たちが楽しく活動できるよう、もっと配慮をしてほしい」

「PTAや育成会会長を経験したが、親が外国人で地域とコミュニケーションを取れないケースを何度も見てきた」

花植えボランティア



取組んでいきます！

団体間の交流・情報交換、活動の支援

・社会福祉協議会や生涯学習ボランティアネットワークなど、地域で活動している様々な組織や個人の連携などを支援します。

共創のまちづくりパートナー制度の周知

・市民のみなさんや各種団体が、地域社会の活動に参画しやすいよう、「共創のまちづくりパートナー制度」の周知と登録を推進します。

姉妹都市、友好都市との交流活動の推進・国際交流

・児童生徒の交流事業や、各自治会・団体などの交流により、異なる地域の住民間の相互理解をすすめます。

外国籍のみなさんが暮らしやすい地域づくりの推進

・外国籍のみなさんに生活情報が適切に伝わる方策などを検討し、実施します。
・それぞれの文化や生活習慣などを正しく理解し尊重しあえるよう、国際理解教育の推進と、市民のみなさんによる国際交流活動を支援します。

めざしていきます！

姉妹都市交流

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
毎年継続的に交流事業をおこなっている民間団体数	4団体	5団体

国際交流

活動中の国際交流団体の実数	2団体	3団体
---------------	-----	-----

外国語指導

小学校における外国語指導助手の年間授業時間	807時間	1,300時間
-----------------------	-------	---------

施策
41

特色をいかした地域振興の推進

政策推進課

理想とするのは……

須坂市の優れた特産品やイメージが、須坂の地域ブランドとして広く認知されることにより、産業の活性化や観光客の増加が図られ、地域がいきいきとしているまち。

施策の指標

めざすのは？



須坂市を知っている人の割合



—数値の測り方—
「地域ブランド調査」による
須坂市の認知度

現状値
(21年度)
25.7%

目標値
(27年度)
49.1%

現状・課題

須坂市には、優れた特産品や豊かな自然、歴史・伝統、文化、産業など、数多くの地域の「宝」がありますが、須坂市に対する「認知」に結び付いていない面もあります。

この優れた地域資源を発掘し、どう磨き上げていくかが、これからの地域づくりに求められる最も重要な課題です。また、地域内外に向けた情報発信は、地域の活性化には不可欠です。

地域のみなさんが自分の地域を知り、その良さに気づき、地域に誇りを持つことが求められています。

市民のみなさんからの意見

「ブランド力を強化することが大切だね！」
「地域づくりに、生涯学習活動をいかして取組む」
「若い人たちの芽を、どんどん伸ばせるような地域づくりも大切！」



蔵の町並みキャンパス

取組んでいきます！

地域ブランドの推進

- ・地域資源の「掘り起こし」や「磨き」により、地域の活性化をすすめます。
- ・地域資源や地域ブランド、マーケティング思考を意識した人材育成を推進します。

信州須坂ふるさと応援団など人的ネットワークの構築

- ・応援団員に対して、メールマガジン、応援団報により須坂市の四季折々のニュースや地域資源についての情報を発信し、モニター制度として積極的に活用します。
- ・信州須坂プロモーション事業などを通じて、地域のPR、人の交流、都市圏における認知度向上、新たな応援団員の獲得をすすめます。

信州須坂ふるさと応援寄附金の取組み

- ・国のふるさと寄附金制度を受けて、須坂市に関心のある方やゆかりのある方への情報提供や、各イベントでPRをおこないます。
- ・電子申請の活用など、納付方法を充実します。
- ・希望の活用方法に従い、寄附金をふるさとづくりに役立てます。

地域づくりへの支援

- ・「地域づくり団体等活動支援貸付事業」などにより、県の「地域発元気づくり支援金」をはじめとした各種公募型助成事業への応募など、地域づくり団体の活動を支援します。

「産官学民」の連携推進による地域振興（大学などとの連携）

- ・「健康づくり」「環境」「賑わい」など、まちづくりの多様な分野に大学などと各部署間で連携して事業をすすめます。
- ・「蔵の町並みキャンパス事業」を推進します。

めざしていきます！

信州須坂ふるさと応援団

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
累計応援団員数	445人	890人

信州須坂ふるさと応援寄附金

年間寄付者数	25人	30人
--------	-----	-----

公募型助成事業への応募

年間応募件数	18件 (22年度)	20件
--------	---------------	-----

蔵の町並みキャンパス

年間延べ参加者数	1,400人	1,600人
----------	--------	--------

理想とするのは……

行政は「地域づくり市民会議」や市民アンケート、各種調査などによって幅広い意見や情報を集め、その情報を広くわかりやすく提供し、市民のみなさんは知りたい情報をいつでも入手できるまち。

施策の指標

めざすのは？



市役所からの情報が
知りたい時に得られている人の割合



— 数値の測り方 —

市民総合意識調査 個別設問

現状値

—

目標値

(27年度)

75%

現状・課題

共創・協働してまちづくりをすすめるには、行政の持つ情報が、早い段階から正しく市民のみなさんや企業に伝わっている必要があります。

ICT(情報通信技術)の進展により、インターネットを利用して行政情報が簡単に入手できるようになりました。携帯電話の普及もすすみ、携帯電話専用ホームページ(モバイルサイト)も手軽に閲覧できるようになってきています。しかし、ホームページを見られない方のために、紙媒体による広報の充実も求められています。また、「ホームページなどに知りたい情報が公表されていない」、「ホームページの更新が遅い」などの指摘もされています。

市民のみなさんからの意見

「市民一人ひとりに、市で取り組んでいることを伝える方法を考えてほしい」

「滞納情報が伝えられていない！」

「問題の共有や情報が乏しい」

「知りたい情報が公表されていない！」



取組んでいきます！

直接広聴広報の充実

- ・「地域づくり市民会議」「市長への手紙」を充実します。
- ・市民のみなさんと市長との直接対話の機会を拡充します。

公式ホームページの内容充実と作業効率化

- ・ホームページアクセシビリティ(様々な閲覧環境対応性)を向上します。
- ・CMS(コンテンツ管理システム)の機能を充実します。
- ・携帯電話用ホームページの内容を充実します。

行政情報の電子化整備

- ・広報すざかの電子ブック化をすすめます。

情報提供の充実

- ・ホームページなどでわかりやすい行政情報の提供をすすめます。
- ・関係機関と連携して、市内の空き家情報など、須坂に住みたい人のための情報を提供します。

広報紙の充実

- ・市民のみなさんによる編集会議を開催します。



めざしていきます！

「地域づくり市民会議」

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
1か所あたりの平均出席者数	33人	40人

ホームページ閲覧

年間ページビュー件数	38万4,000件	40万3,000件
------------	-----------	-----------

マスコミでの広告換算額

新聞やテレビなどに 取り上げられた回数を 単価計算した年間合計額	1億9,600万円 (過去3年平均)	2億200万円
--	-----------------------	---------

市の情報を広報紙から得ている人の割合

「地域づくり市民会議」 アンケート	90%	90%以上
----------------------	-----	-------



地域づくり市民会議

ICTによる利便性の向上と 効率的なシステム運用

施策
43

政策推進課

理想とするのは……

日々進歩するICT(情報通信技術)を利活用し、市民のみなさんのニーズと、費用対効果のバランスを考慮してシステムを運用するとともに、情報格差や地域格差が改善され、市民のみなさんが安心して快適な生活を送れるまち。

施策の指標

めざすのは?

行政手続きの電子申請件数



一数值の測り方—
年間申請件数

現状値
(21年度)
370件

目標値
(27年度)
700件

現状・課題

発展し続ける情報通信技術をめぐる動向に的確に対応し、様々な課題に対応できる情報通信基盤の整備と、情報化施策の推進が必要となっています。

市民のみなさんの生活を快適にできるよう、情報通信技術を有効に活用し、市民のみなさんのニーズと費用対効果を考慮した情報化を推進します。

情報通信技術の発達に対応できる人づくりと、環境の整備が必要です。

市民のみなさんからの意見

「コストと市民サービスとのバランスを大切に！」
「定型業務を合理化するため、ICT化をすすめるべき」

取組んでいきます！

利便性の向上と業務の効率化

・市民のみなさんの必要性と費用対効果のバランスを考慮し、ICTを活用した住民サービスを提供するとともに、市役所業務の効率化をすすめます。

情報セキュリティ対策などの推進

・市民のみなさんの財産を守る観点から、行政が持つ情報のセキュリティ対策を推進します。

情報格差の改善

・市民のみなさんが情報利用格差を改善できるよう、パソコン講習などを実施します。
・高速通信サービス展開を通信事業者に要望するなど対策をとることにより、地域間の情報格差の改善に努めます。

めざしていきます！

市民のみなさんのインターネットの利用率向上

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
家庭でインターネットを利用している人の割合	55.9%	70%

電子データ保存の安全性確保

サーバ整備率	50%	100%
--------	-----	------

高齢者のパソコン教室受講者数増加

技術情報センターで実施する「おでかけパソコン教室」などへの高齢者の受講者数	400人	520人
---------------------------------------	------	------

おでかけパソコン教室



写真提供：NPO法人 信州 SOHO 支援協議会



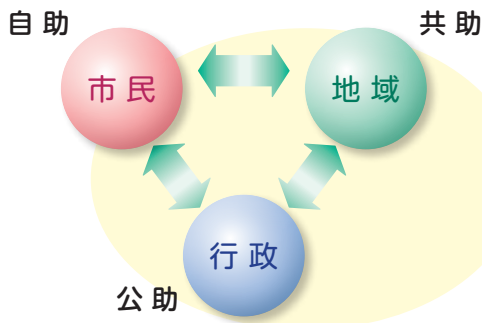
高齢者パソコン教室

理想とするのは……

少子化・高齢社会の時代にあって、市民のみなさんと行政が連携しながら、共創によるまちづくりをすすめるため、区（自治会）の活動を支援しているまち。

自治会が地域コミュニティの中心的な組織として活発に活動するとともに、地域のみなさんが「地域課題の発見解決」に取り組むしくみがつくれ、地域の様々な財産が大切にされ、それぞれの魅力が高まっているまち。

施策の指標



現状・課題

地域の課題解決のためには、自助（地域住民）、共助（地域住民と行政の共創）、公助（行政）によるものがあります。地域コミュニティを活性化するためにも、役割分担を明確にしなが、協力することが求められています。

須坂市では、市民のみなさんと行政が協力し合い、住みやすく活力あるまちづくりを「共創」で取り組んでいます。自治会においても、福祉・衛生・防犯・防災・児童育成活動などで、行政との連携をとりながら、地域コミュニティの活性化に協力しています。

核家族化や生活形態の多様化がすすみ、役員の担い手不足や各種行事の実施などで課題がある中、女性や退職したサラリーマンなどの参画が期待されています。

さらに、地域ごとに異なる資源、人口、環境などの条件や課題をふまえ、それぞれに適した方法で課題の解決に取り組むしくみを整えていく必要があります。

取組んでいきます！

自治会及び区長会活動への支援

- ・区長会事務局やサポーター職員を通じ、各自治会の実践活動、行政情報などを積極的に提供します。
- ・区長と市長との意見交換会、「地域づくり市民会議」など様々な機会を通じて、地域と行政の情報を共有します。
- ・地域コミュニティの活性化のため、婦人会、育成会、老人クラブなど自治会の諸団体と連携するとともに、公会堂建設等補助金の交付や各種助成事業の申請を支援します。

地域課題の発見、解決のしくみづくり

- ・自治会のブロックや地域公民館などを単位として、それぞれの地域課題の発見や解決に取り組むしくみづくりを支援します。
- ・地域の課題を地域で共有し解決するための意識啓発・情報共有をすすめます。
- ・陳情、要望などへの解決策を共に考え、適切かつ迅速に対応します。

めざしていきます！

助成事業への申請

数値の測り方	現状値 (22年度)	目標値 (27年度)
自治会団体などの年間申請件数	6件	8件

地域課題の発見や解決に向けた取組み

数値の測り方	現状値 (21年度)	目標値 (27年度)
自治会のブロックや地域公民館の取組み累計地区数	0地区	12地区



区長会役員会

市民のみなさんからの意見

- 「自分のまちは自分たちで作る、という自立した個人が集まって行動するのが理想だね」
- 「子どもが、高齢者が、障がい者が、市民みんなが、楽しみながら支えあえるニューコミュニティづくりを！」
- 「行政は各種ネットワークづくりのかなめになる」

施策
45

総合計画の推進

政策推進課

理想とするのは……

第五次須坂市総合計画の将来像「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち 須坂」を実現するために、市民のみなさん・地域・企業・団体・行政の共創・協働により、効果的で持続的なまちづくりがすすめられているまち。

施策の指標

めざすのは？

「施策の指標」全体達成度



一数値の測り方ー
施策の指標全体のうち
達成した施策の割合

現状値※
(21年度)
55.3%

目標値
(27年度)
80%

※注) 第四次須坂市総合計画・後期基本計画「目指そう値」全体達成度

現状・課題

第四次須坂市総合計画・後期基本計画において、48施策に数値目標を設定し、進ちょくを管理していますが、数値目標を検証できないものがあり、事業効果が把握できる数値目標の設定を検討する必要があります。

市民のみなさんと共にまちづくりをすすめるために、行政は、まちづくりの方向性を具体的にわかりやすく伝えなくてはなりません。そのためにも、市長以下全職員が目標を共有し、行政全体で目標の達成に取り組むことが必要です。

市民のみなさんからの意見

「まず1つの目標を市民に提示して、実現していった方がいいと思う」

「目標を決めてねばり強くつづけることが必要。形式的なまとめでなくみんなでやろうという目標を設定してほしい」

「市民の目線に立った行政の取り組みが必要！」



取組んでいきます！

総合計画の目標と組織目標の一体化

・総合計画に掲げる目的・目標の達成に向けて事業を改善するために、総合計画の目標と組織目標を一体化します。

目標の共有

・市民のみなさんと行政が計画の目標を共有できるよう、総合計画の目標と達成に向けた進ちょく状況を周知します。

市民のみなさんの考えを反映させた施策実行

・定期的に市民総合意識調査などを実施し、市民のみなさんのまちづくりに対する思いや考えを反映させ、総合計画に沿った施策をすすめます。

市民評価への取組み

・行政の取組みの評価については、行政評価制度を活用し行政内部のみではなく、市民のみなさんも含めた第三者機関などにより評価します。

将来像の実現に向けた柔軟な取組み

・その時点の社会や経済の環境、須坂市の状況などに応じ、将来像の実現のために必要な事業などを柔軟に推進します。



めざしていきます！

主な取組みの指標全体達成度

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
全取組み数のうち達成取組み数の割合	55.3%	80%

総合計画の進ちょく状況の広報実施

広報・新聞テレビ掲載、ブログ掲載の年間実施回数	35回	50回
-------------------------	-----	-----

各種調査によりお聴きした市民のみなさんの数

回答者・参加者の累計人数	2,284人	7,000人
--------------	--------	--------

市民評価に参加した市民のみなさんの数

年間延べ参加者数	40人	80人
----------	-----	-----

市民ホール窓口



117人会議での話し合い



理想とするのは……

職員一人ひとりが、市民のみなさんや各種団体などと役割分担しながら、働く意欲と使命感をもって、市民のみなさんと共に課題解決に取り組んでいるまち。

近隣の市町村や関係団体と連携し、それぞれが得意とする分野や特有の資源をいかしあうまち。

施策の指標

目指すのは?



クレーム報告件数の減少



—数値の測り方—
クレームゼロ運動で、報告対象となったクレームの件数

現状値
(21年度)
22件

目標値
(27年度)
10件

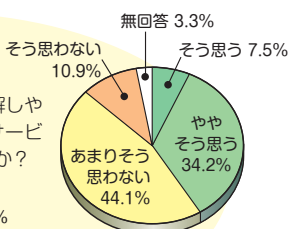
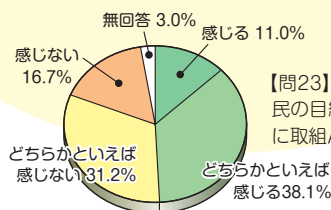
現状・課題

社会情勢の変化に対して、限られた人員で対応するため、効率的な組織づくりや、市民のみなさんや各種団体などとの役割分担をすすめる必要があります。

広域的課題としては、医師不足対策、消防業務、ごみ処理、公共交通、主要道路網、観光振興などがあることから、近隣の市町村や関係する団体と連携してこれらの課題に取り組む必要があります。

〈市民アンケート〉

【問23】須坂市は、行政が市民に理解しやすい明確な目標を立て、よりよいサービスを提供しているまちだと思いますか？



【問23】あなたは、市の職員が市民の目線に立って、意欲的に仕事に取り組んでいると感じますか？

出典：平成21年度市民総合意識調査より

めざしていきます！

職員数

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
正規職員数	501人	475人

庁舎内での環境負荷低減

全蛍光灯数のうち紐スイッチ設置数の割合	14.8%	100%
---------------------	-------	------

職員提案

職員提案件数	8件	15件
--------	----	-----

取り組んでいきます！

業務の整理と、優れた業務プロセスの構築

- ・業務の内容や進捗状況を可視化して、常に業務の改善が図れるようにします。
- ・行政評価で業務の成果や課題を整理し、公表します。

情報公開と個人情報保護

- ・個人など、第三者の権利利益に配慮しながら、市民のみなさんの知る権利を保障します。
- ・個人情報の適正な収集や使用、管理を徹底し、個人の権利利益を保護します。

法令などの順守を徹底

- ・決裁過程での、内部チェック機能を強化します。もし、法令などの違反があった場合は、速やかに情報を公表し、誠実に対応します。

職場内の環境対策を推進

- ・日常業務活動におけるエネルギー消費量を計測して、環境に与える影響を減らす方を考案します。
- ・労働安全衛生法に基づく快適職場指針により、職場環境を改善します。

5S運動を推進

- ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、習慣)を徹底し、5S運動の工夫を業務改善に応用します。

一人ひとりの職員が能力を発揮し、自己実現できる職場づくり

- ・目標の提示と柔軟な役割分担により、職員のやる気を、市民サービスの向上や業務改善に結びつけます。

求められる人材像を定義し、職員を育成・確保する人材戦略

- ・仕事上の経験や技能を十分に積んでいるのかを評価する人事評価制度や、職員が自主的に参加する研修プログラムなど、常にスキルを高めることができる人材育成システムをつくります。

堅実な法規審査

- ・法令や他の例規との整合と、確実に明快な表現方法を慎重に見極めることにより、担当課の業務執行を支援します。

文書事務の適正化を徹底

- ・新規採用職員研修や、文書事務のチェックなどにより、市民の財産である公文書の事務の適正化を徹底します。

長野広域連合及び構成市町村との連携

- ・住民サービスの向上や効率的な行財政運営に向け、長野広域連合の機能が十分いかされるよう、長野広域連合及び構成市町村との連携を強化します。

須高行政事務組合及び構成市町村との連携

- ・医療、交通、観光など、様々な分野において、須高地域の隣接市町村との連携を強化します。

徴収業務の広域での取組み

- ・県と県内市町村で構成する共同化組織により、税徴収をすすめます。

市民のみなさんからの意見

「職員全員が力を結集していない！」
「職員の仕事に対する積極性が不足」
「広域化によるメリット、デメリットの洗い出しが必要では!？」

施策
47

長期的展望に立った財政運営

財政課

理想とするのは……

財政状況の長期的展望を踏まえた上で、市税などの自主財源の確保に努め、収支バランスの取れた財政運営がされているまち。

これらの財政状況を常にわかりやすく公表し、市民のみなさんとの情報の共有が図られているまち。

市民のみなさんが、市の財政状況に関心を持つとともに、厳しい監視体制の下で、予算が適正に執行され、税金の無駄遣いがないかきちんと点検しているまち。

施策の指標

目指すのは? 財政力指数

一数值の測り方
財政力指数※
3か年の平均値

現状値 (21年度)	目標値 (27年度)
0.556	0.600

※注) 財政力指数：標準的な行政活動をおこなうために必要な財源を、どのくらい自分で調達できるのかを表す指標。(この指数が1に近いほど、財源に余裕があり、財政基盤の強い自治体とみるがとができます)

現状・課題

市民のみなさんの目が行き届いた財政運営として、箱物行政からの転換や経営の民間移譲がすすんできており、補助金の見直しなどによる経費削減、起債残高の減少や実質公債費比率などの改善といった効果も、表れてきています。

一方で、税金などの滞納や未収金といった情報や、財政情報の公開が不足しており、施策の優先順位の考え方や、今後必要となる経費などの説明が十分とは言えない状況です。

今後は、財政情報の公開をすすめるとともに、財政力の改善や意識の改革などが必要となってきます。

また、クレジットカード公金収納※など、市民のみなさんのニーズに対応した収納方法について検討していく必要があります。

※注) クレジットカード公金収納：クレジットカードにより税金などを支払うことができること。

市民のみなさんからの意見

- 「財政力の改善、意識改革が必要！」
- 「財政情報の公開が不足している」
- 「財政支出の優先順位が、市民に理解されていない！」

取組んでいきます！

財政状況の公表

- ・財政状況をわかりやすく公表します。
- ・高齢社会を踏まえ、10～15年後の長期計画を策定します。

予算編成への市民参加

- ・市民参加型予算編成方法などを検討し、市民のみなさんの意見を反映した予算とします。

財政力の向上

- ・健全化判断比率を適正数値(早期健全化基準以内)に保ちます。

歳入の確保

- ・市有資産を適正に売却するなど、資産の有効活用を促進します。
- ・国、県、民間の補助金や事業など外部資金を効果的に活用します。

歳出の節減

- ・市民のみなさんが理解できる、適正な人件費とします。
- ・定型業務の合理化や、ICT化の推進による経費節減をすすめます。

収納方法の充実

- ・クレジットやパソコンによる収納など、様々な収納方法を研究し、より便利で安全な収納ができるよう充実させます。

収納体制及び対策の強化

- ・庁内の密接な連携体制により徴収をすすめるため、須坂市滞納整理推進本部の機能を強化します。
- ・計画的に滞納整理を実施し、市民のみなさんに状況を公開します。
- ・滞納案件の内容を精査し、状況別に仕付けします。

目指していきます！

国などから長期的に借り入れる資金の返済が済んでいない残高

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
一般会計の市債残高	160億5,609万7,000円	160億円未満

自治体財政の健全化を示す指標

実質公債費比率 収入に対する借返済額の割合。 黄信号の基準は25%。	9.9%	10.0%未満
将来負担比率 年間収入に対する将来的に負担する可能性のある借金の総額の割合。 黄信号の基準は350%	39.2%	40.0%未満
経常収支比率 税金や地方交付税など使道が自由な収入に対する固定的な支出の割合。 比率が低いほど柔軟性が高く、95%を超えると国の指導対象。	90.3%	90.0%未満

市税の徴収率(現年課税分)

その年に納める税金のうち納められた額の割合	97.70%	97.89%
-----------------------	--------	--------

市税の徴収率(滞納繰越分)

これまで納められていなかった税金のうち納められた額の割合	8.86%	16.56%
------------------------------	-------	--------

◇コラム

す・ま・い調査（すざかしのまちづくり意識調査）

「的確な現状の把握と分析」を計画づくりの基本的な考え方のひとつとして挙げて、市民のみなさんのニーズと須坂市の現状の課題を的確に把握し、市民のみなさんの視点で総合計画づくりをすすめてきました。その取組みのひとつとして、「す・ま・い調査（『すざかしのまちづくりいしき調査』の頭文字を取った名称）」を実施しました。

市役所や図書館など市の施設以外にも、市民のみなさんが利用する須坂病院や須坂温泉、湯っ蔵んどのほか、市内高校にも配布し、回収のご協力をいただきました。

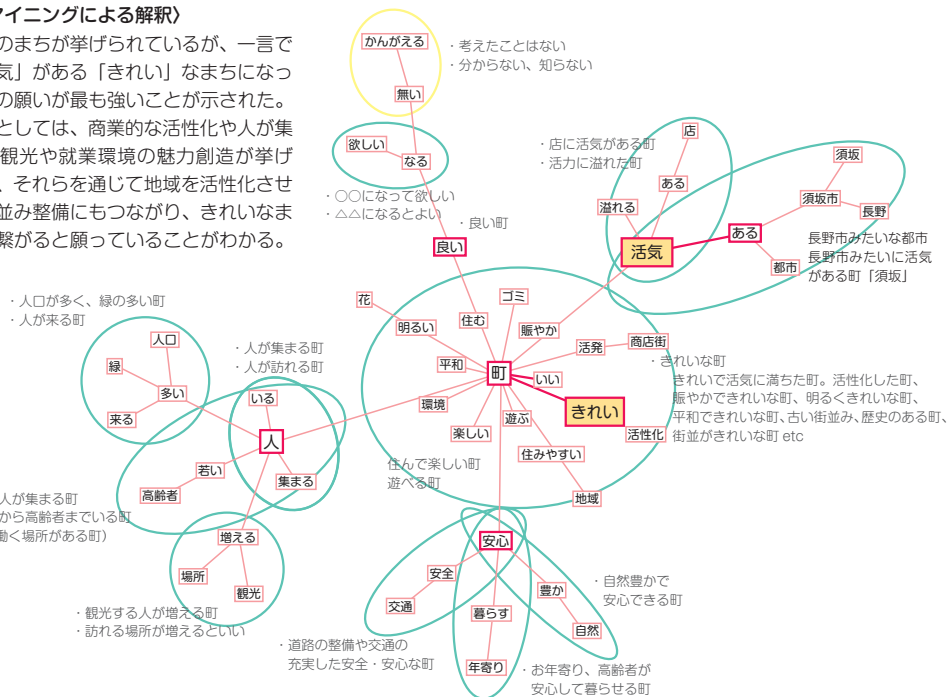
市民のみなさんのニーズを的確に把握して計画づくりをすすめるためにす・ま・い調査では、選択式の定量調査ではなく自由記述による定性調査で実施しました。また、調査結果の分析は、信州産学官連携機構（事務局：信州大学産学官連携推進本部）に協力いただき、テキストマイニング手法という新しい方法でおこないました。

テキストマイニング手法とは、自由記述データを簡単な単語に分類・変換し、抜き出した単語の出現頻度と単語同士の関係を数量化することで記述データ内容の要約、単語同士の関係構造を分析する方法です。この手法により、一定の量的・統計的根拠に基づく客観的な分析が可能となり、単語の関係性を視覚的に表示し、直感的に理解できるよう分析結果をまとめられました。

質問：10年後の須坂市がどのような町になれば良いと思いますか？

〈テキストマイニングによる解釈〉

様々な理想のまちが挙げられているが、一言で言えば、「活気」がある「きれい」なまちになって欲しいとの願いが最も強いことが示された。活気の源泉としては、商業的な活性化や人が集まるような観光や就業環境の魅力創造が挙げられており、それらを通じて地域を活性化させることが町並み整備にもつながり、きれいなまちの実現に繋がると願っていることがわかる。



市民総合意識調査とともに調査分析結果を基礎データとして総合計画審議会や担当部署での原案づくりなどに活用し、回答していただいたみなさんの考えや思いを第五次須坂市総合計画に盛り込みました。